

# 帯広畜産大学同窓会報

第18号 平成23年6月 帯広市稲田町西2線11番地 帯広畜産大学内 帯広畜産大学 同窓会事務局発行

## 帯広畜産大学創立70周年記念事業「(仮称)同窓会館」建設に向けて

担当副会長

由 佐 壽 朗  
(昭和41年農化)



先日の東日本大震災で犠牲となられた方々、また被災された関係者の皆様方に心よりご冥福とお見舞いを申し上げます。帯広畜産大学同窓会の方々にも亡くなられたり、被災された人が多数おられるとの事、大変心が痛みます。重ねてお見舞い申し上げます。

さて帯広畜産大学創立70周年記念事業の一環として仮称同窓会館の建設が決まり担当副会長として同窓生の皆様方には更なるご協力と現在迄の建設経過を報告いたします。

### 《会館の概要と工事状況、集金のお願い》

面積はログハウス（ホール）77.76㎡、デッキ51.84㎡、合計129.60㎡（40坪）

形状は北海道産エゾマツ材角ログ平屋建  
予算額30,000,000円

位置は昨年新築された柏プラザの隣で旧正門、旧女子寮に続く林の中に位置し、できるだけ立木を残した静かな環境で駐車場も約30台、柏プラザ駐車場が使用できます。

工事状況は既に着工し（6月10日）現在基礎工事中、角ログ材は道東中標津町の木工場で加工、一度組み立ててから解体し、現場で再度建て上げられます。（7

月20日頃）。色は会報等でお届けしたグリーン屋根、パイン色壁でなくできるだけ昔の学校舎風の色で検討中です（下図）。内部は約50.0㎡の会議室、9.0㎡の事務室と10.0㎡の倉庫（同窓会員の資料保管）、トイレ、給湯室でできています。デッキは床材にアカエゾマツの厚板を使用し夏は焼き肉、ビールパーティーなど同窓会や大学関係者のコミュニティの場所になればと思っています。

完成と同時に大学へ寄付し管理などしていただくことになっております。畜産大学は近年施設が新築され大変立派になりました。各々の建物とのバランス等、同窓会館が大学のロケーションの中に融け込むよう留意して大学施設課のプロのアドバイスも沢山いただきました。

限られた予算の中での事業の厳しさをつくづく感じています。大学基金からの援助もいただき、そして同窓会員各位、関係会社からの寄付などで概ねその目処はつきそうですが、まだ若干不足しているのが現状であります。

昨今の経済情勢の中での更なるご負担は心苦しいものがありますが、是非あと少しのご協力をお願いできればと考えております。

更に仮称同窓会館のネーミングですが、同窓会員及び関係者の皆様に8月末まで応募していただきたく重ねてお願いいたします。（現在まだ5件）

10月8日の創立70周年記念式典の時、同窓生や関係各位の方々にこれが私達が作った会館だと満足いただけるよう工事関係者と共に鋭意注力する所存です。宜しくお願い申し上げます。

平成23年6月20日



会館の名称  
募集中!!

詳しくは本文4ページ参照

## 第18号 発刊によせて

副会長

樋口 昭 則

(昭和46年酪農)



第18号発刊にあたり、紙面を借りてご挨拶申し上げます。本来、この記事は会長が執筆するのですが、体調不良のため副会長が執筆します。太田会長は、体調を崩し衰弱していますが、検査結果では異常がなく、2・3ヶ月の休養を要するとのことで、70周年記念式典までには元気な姿を見せてくれると思います。

その70周年記念式典ですが、来る10月8日(土)に畜大講堂で行われ、同窓会館の開所式や祝賀会も引き続き開かれます。また、前日の7日(金)には、旭山動物園の園長さんによる記念講演も行われます。多くの同窓生が集まり、楽しい時間を過ごしたいと、具体的な実施内容の詰めや準備作業を進めています。従来、50周年や60周年の記念事業は、同窓会が中心になって進めてきましたが、大学も法人化してこのような事業に積極的に関わられるようになり、今回は大学と同窓会が一緒になって進めています。

70周年では、同窓会は仮称「同窓会館」を建設し、大学に寄付することになりました。建物の建設は始まっていますが、同窓の皆様の寄付金で建設費用をまかなう目標額には、まだ届いていない現状にあります。今一度、同窓会館建設のための寄付金をよろしくお願い申し上げます。

去る3月11日には、千年に一度と言われる東日本大震災が発生しました。同窓生の皆様やご家族の中にも災害に遭われたり、その後の放射能汚染の被害に遭われたりした方がいらっしゃると思います。それらの皆様にお見舞い申し上げますとともに、同窓会で把握している以下のことをお伝えします。岩手県大槌町役場職員であった木村圭治(昭和53年工学)さんが、町長等とともに津波に流されて亡くなられました。この場を借りてご冥福をお祈りします。また、福島県飯舘村の菅野典雄(昭和45年草地)村長は同窓生で、同窓会や大学でも支援策を検討しています。同窓会では、同村発行の本「までの力」を畜大生協で販売する際の補助をしています。同窓の皆様からも、支援策のアイデアをいただければ幸いです。

同窓会の目的は、会則第2条にあるように「会員相互の連絡と親睦、並びに帯広畜産大学の発展に寄与する」ことです。70周年記念事業を実施し、同窓会館を大学へ寄付することは、その二つの目的に合致します。さらに、会員への支援も大事なことではないかと、あらためて考えています。

## 「グローバル人材」の育成

学 長

長 澤 秀 行

(昭和53年獣医)



東日本で発生した巨大地震・津波とそれに伴って起きた原子力発電所の事故により被災された皆様に哀悼の意を表するとともに、心からお見舞い申し上げます。どのような言葉を持ってしても、今年3月11日に起こった大震災の被害に対する思いを表すことは困難です。私たちは、今できること、継続してすべきこと、大学としてなすべきことを考え、行動することが大切であると思います。

知の創造と実践によって、実学の学風を発展させ、「食を支え、暮らしを守る」人材の育成を通じて、地域および国際社会に貢献する。これが、平成22年度から6年間の第2期中期目標・計画における本学のミッションです。地球規模のスケールで、狭い専門性に留まることなく、獣医・農畜産融合の視野に立ち、さらに他の分野と連携しながら、社会が直面している課題を把握することができ、その解決に向けて行動することができる人材を輩出したいという思いを込めて、本学のミッションを定めました。

様々な困難の克服には、対応に当たる人材の能力が重要であることは、現在の災害復興の状況からも明白であると思います。最近「人材」を「人財」と表すことも多くなりました。我が国の18歳人口は、今後10年間、110万から120万人程度の規模で横ばいになると予想されています。加えて、最近の傾向として、若い世代が内向き志向になっているということがあります。一人でゲームを楽しむ、コミュニケーションは対面式ではなくメールで済ます、進学や就職の際は地元・親元から離れたくない、学生の海外留学生数が平成16年以降は減少傾向にある、大学研究者の海外派遣希望者が毎年減っている、というのが我が国の現状です。大げさに言うと、変化の激しい世界経済の中で、「日本のガラパゴス化」が懸念されるとの危機感もあります。世界の情勢がグローバル化に向かっている今こそ、我が国においても、初等中等教育や大学教育の諸課題、あるいは経済社会の諸課題に対して、社会全体のシステムを改善し、「グローバル人材」の育成に取り組むことが不可欠であると思われます。

本学の場合はこれまでの歴史と伝統と同窓生の努力により、国際協力実績は高く評価されています。海外で活躍されている同窓生も多く、国際機関に従事されている方々もたくさんおられます。先生方も国際共同研究や海外調査、学術交流など積極的に活動しておりますので、その結果、外務大臣表彰や国際協力機構(J

I C A) との大学間協定も全国の大学に先駆けて締結しています。この協定の下、J I C Aの青年海外協力隊短期派遣制度により、平成17年からの4年間で32名の学部学生がフィリピンに派遣されました。今年は、この制度によりパラグアイ東部地域プロジェクトの公募があり、全国で4名が選ばれましたが、そのうち3名が本学の学部学生です。他にも、平成22年度からアフリカ・マラウイで、平成23年度からは、南米・パラグアイでそれぞれ草の根技術協力事業が展開され、あるいは予定されています。学生も多数参加することになりますので、教育効果を大いに期待しているところです。

大学の本務は、人材育成です。教育、研究、地域貢献、国際協力事業など、すべての業務を、グローバル人材の育成に向けて、これまで以上に推進することが本学のなすべきことと心得、我が国が直面している困難な課題に総力を挙げて取り組みたいと考えています。

今後とも、社会に高く評価される大学づくりを進めて参りますので、引き続き、同窓生の皆様のご支援ご協力、よろしくお願い申し上げます。最後になりますが、本年10月8日の創立70周年記念式典に合わせて、多くの同窓生が、大学に足を運ばれますよう祈念いたします。

## 副学長(財務・施設担当)・ 事務局長に就任して

副学長・事務局長

三 竹 俊 之



本年4月1日付で、副学長・事務局長を拝命しました。就任前の2年間は滋賀大学にいて、生まれて初めての北海道での生活という事で、着任早々宿舍でのストーブ用灯油の買い出しなど、寒さととまどいがありました。雄大な十勝平野の中での「大空と大地」に魅了されています。

今年衝撃的であったのが、3月11日に発生した東日本大震災での被害や放射能の影響による計画的避難地域の問題です。在学生や今年の入学者の中にも被災地域の出身者が84名おり、本学としては震災により影響のあった学生に対し、授業料免除等の経済的支援を行うとともに、メンタルヘルスに関する相談窓口を設けています。

### [本学の財政運営について]

平成16年度から国立大学は法人化され、財政面でも制度が大きく変わりました。特に大学の運営は、国からの運営費交付金と、入学料、授業料などの自己収入で賄うことになりました。本学の収入予算に占める運営費交付金の割合が高い(平成23年度約56%)中で、

運営費交付金予算は継続的に削減されてきており、今後も、近年の厳しい国の財政状況や東日本大震災に係る復興対策等から、運営費交付金はどうなっていくのか不透明になっています。そのような動向をしっかりと見極めて、本学は、安定的な財政運営に向けた検討を十分行っていく必要があると考えています。

また、来年度の概算要求については、来年度から開始する予定の、北海道大学との「共同獣医学課程」設置に係る事項に重点を置き、必要な運営経費や施設・設備整備のための予算確保に努めたいと思います。

### [本学の施設整備について]

この数年くらいの中に、総合研究棟Ⅰ号館、Ⅱ号館をはじめとした教育研究施設の耐震改修や機能改善のための整備、また、学生の学びあいの場としての「かしわプラザ」の建設とともに周辺環境整備を実施し、美しいキャンパスに変貌しました。

今後も、本学の特色を活かした教育研究施設やフィールドを活用した実習施設の充実を図るとともに、学生の視点に立った施設の整備を推進したいと思います。

また、省エネルギー対策、環境保全対策としての取り組みとして、「かしわプラザ」や「図書館」に太陽光発電設備を設置するとともに、総合研究棟Ⅱ号館では、地中熱を利用した換気設備を導入しましたが、今後もその推進を図っていく必要があると考えています。

### [さいごに]

本学の持続的発展のためには、全教職員が一丸となった協働体制と取り組みが必要であり、国立大学としての社会的使命を果たすためにも、希望の持てる大学づくりに全力で取り組んでいきたいと思っていますので、同窓会の皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

## 故木村圭治追悼メッセージ —左WG圭治の思い出—

帯広畜産大学 サッカー部昭和48年次マネージャー

八 巻 裕 逸

(昭和52年獣医)

畜大入学式の数日後の午後、13名の新入生がサッカーグラウンドに三々五々集まった。髭も生え揃っていない青っちょろいだけの男の子達であったが、皆生意気盛りであり青春を謳歌しようという気分をふんだんに分泌していた。多くの新入部員が数人ずつ群れて談笑している中であって、一人でリフティングしている子がいた。昭和48年4月、圭治、君との出会いだった。

黒目がちの大きな瞳は切れ長で一重の瞼でつましく隠され、鼻筋が通って口元の引き締まった俊敏精悍な相貌をし、それでいて豊かな人懐こさも漂わせた好漢であった。盛岡の出というこの好漢は、東北人らしく平素は口数が少ないがイザというときは重そうな口

から一つ一つの言葉を丁寧に選んで訥々と発した。

君は左WG。君の左足で蹴ったセンタリングをFWが詰めるというのが我がチームの有力な攻撃パターンだった。君の左足のお陰で僕らは何度も勝利に酔うことができた。

サッカーワールドカップ開催年にかつてのイレブンを編成して他流試合をするようになって4回を数える。これは内藤明男さんの音頭によるもので、僕らは「ヤールドカップ」と呼び旧交を温めるのを楽しみにしていた。卒業後四半世紀を経ても、試合が始まると僕らの五体のうちを熱き血潮が渦巻き、踊った。かつての紅顔の美少年達は頭が薄くなっていても、腹が引っ張っていても走り方やボールの蹴り方、ミスの方、声のかけ方までそれぞれが若い時の癖のとりのプレーをする。昔と同じだ。ただスピードとキレが失われただけだ。しかし、君のフットワークは軽やかだった。スタミナも続いていた。中盤あたりでスルーパスを出していた思いきや、いつの間にかゴール前で左足でシュート。君一人が何故そんなに元気なのか。一人だけ年をとっていないのか、そんなはずはないと思い、理由を尋ねるとこの試合のために半年前から走りこんできたとはかんで答えた。

大震災から一週間ほどして、君の訃報に接した。被災地の役場勤務と承知していたので無事であることを祈っていた。頭の中が真っ白になった。

君は畜大の多くの学生に共通する「地域のために」の念が強く、ために大槌町に奉職した。今や幹部の一員として地域の振興や住民福祉などに向け町長を支えあるいは職員の先頭に立って様々な地域課題に取り組んでいた。そして、平成23年3月11日、受難した。

僕は、君がボールを蹴る時の真剣な眼つきと仲間と懇談する時の相手を慈しむような眼差しが忘れられない。仕事に向かう時、住民や家族と接する時もそのようであったのだろうと思う。僕にとっては、学生時代の君も先年のヤールドカップで会った時の君も同じ顔をしている。久しく反別していなかった40年近く前の記憶が断片的にはあるが鮮やかに形作られてくる。

岩手が落ち着いた頃を見計らって、仲間挙って君に会いに行く。

圭治、安らかに眠れ。

(地方独立行政法人 北海道立総合研究機構

中央農業試験場 副場長)

## 帯広畜産大学夏の 焼肉パーティーへのお誘い

昨年度より、恒例といたしました夏の焼肉パーティーを今年も開催いたします。開催要領は下記のとおりです。十勝管内の卒業生はもとより、全国の同窓生をお待ちしております。

記

日時 平成23年8月6日(土曜日)12:00 スタート  
場所 帯広畜産大学 顕彰碑前(生協前広場)  
会費 3000円

なお、準備の都合がございますので、7月末までに、同窓会事務局に、メール、FAX、電話でお申し込みください。会費は、当日、承ります。

## 帯広畜産大学創立70周年記念事業 「(仮称)同窓会館」の名称募集について

同窓会では、70周年の記念事業である「(仮称)同窓会館」に帯広畜産大学にふさわしい会館名を募集しています。この会館は、旧女子寮の南側、乙女の森の中に、景観に考慮した角ログハウスの平屋と建て、完成後は同窓生、学生、教職員の集える場として活用される予定です。会員皆様のふるっての応募をお待ちしています。

応募期間

平成23年8月31日

募集方法

官製はがきまたはFAX、E-mailをお願いします。

あて先・問い合わせ先は、同窓会事務局です。

名称案、応募者の卒年、学科、氏名、住所を記入の上郵送(送信)してください。

当選者特典

応募された名称案を参考に正式名称を決定し、平成23年10月8日に公表します。なお、決定した名称を応募された方1名を創立70周年記念事業にお招きし、大学への譲渡式およびテープカットに出席していただきます(多数の場合は抽選・国内旅費、宿泊費を上限とする)。

## 帯広畜産大学同窓十勝会例会開催案内

会長 由佐壽朗(S41農化)

同窓十勝会では下記の要領で例会を開催いたします。

万事お繰り合わせのうえ、ご出席をお願いします。

記

日時 平成23年10月8日(土曜日)10時30分

場所 帯広畜産大学 かしわプラザ2階

マルチルーム(2)

## 『までの力』で飯館村の応援を

同窓会事務局長

辻 修

(昭和53年工学)

福島第1原発事故の影響を受け、計画避難地域に指定されたということで頻りにTV出演されている飯館村の村長は、わが帯広畜産大学草地学科45年卒業の菅野典雄氏であります。同窓会としては、このあまりにも広範囲における東日本大震災に援助の手を差し向けることはできませんが、ピンポイントとして我々同窓会が協力できるという点において、この飯館村の応援団となることは、同窓会の活動目的としても合致しているということで、先般開催された、代議員会で了承されました。

その応援内容としては、飯館村の村おこしを描いた『までの力』という本を会員の皆様にご覧いただき、その一部が、飯館村に寄付されるということです。この本の出版社は、福島市内の小さな出版社で、この本自体、全国の書店に並ぶ本ではありません。またこの出版社も一般書店への販売は行っておらず、この出版社での通信販売を主な販売手段としています。そこで、同窓会は、この出版社と交渉し、村長の母校でもある帯広畜産大学の生協であるならば、販売を委託するということになり、現在、帯広畜産大学の生協店舗において、店頭販売している状況です。とはいえ、同窓生の皆様に、生協まで来ていただくことは困難であり、この会報を通して、同窓会事務局でこの本の斡旋を行い、生協と協議の上、定価2,500円の本を全国一律、送料込みで2,600円でお送りすることが可能となりました。また、同窓会としてもこれに協力するというので、定価との差額分を援助し、同封の振込用紙で申し込まれた同窓生に関しては、一冊定価の2,500円で発送することを代議員会で了承していただきました。

まことに、出費多々な時期ではありますが、同窓会館建設の建設寄付に合わせ、こちらの方にもご協力をお願いする次第であります。



## 支部だより

### 釧路支部の近況報告

釧路支部長

伊 織 正 一

(昭和32年獣医)



3月11日に発生した東日本大震災並びに東電福島第一原発の放射線事故により、亡くなられた同窓生のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された方々にお見舞い申し上げます。

さて、当支部では平成22年11月釧路市において、長澤学長、由佐副会長、辻事務局長のご臨席をいただき、会員26名が出席総会を開催。大学創立70周年記念事業内容の説明と協力を決議、続いて松井支部長の勇退により、代って私が引き継ぐ事になりました。総会終了後の懇親会は4年振りで大いに盛り上がりました。会員が同窓の強い絆と近親感を共有して、暮らしや地域社会の発展に供する為にも、一堂に会する総会の役割は大きな意義を持つものですが、出席者が少なく頭を痛めています。

当支部会員数は平成14年に131名が、現在197名に増加し、農業・畜産経営者が最も多く、ノーサイ、公務員、農業関連団体、会社などで活躍しています。その中から顕著な活動会員を紹介すると

- ・日野浦正志氏 草地学課 S44卒 鶴居村長、豊富な学識と経験を駆使活躍。
- ・瀧澤義一氏 草地畜産専修 S44卒 JA鶴居・JA丹頂組合長、今年度からホクレン副会長、農業振興に活躍。
- ・片野泰嗣氏 酪農学科 S47卒 酪農業 北海道指導農業士協会会長、(会員650名)、全国協会理事。深刻化する農業経営者不足に向け、担い手育成を提唱し強力に推進。
- ・武藤浩史氏 家畜生産科学科 S57卒 S62年35頭の羊とともに白糠町に入植、茶路めん羊牧場を開設。生産加工販売の一貫経営、製品すべて産直予約販売で、特に精肉販売は生が基本、羊肉の美味しさを嗜む多くのファンに供給出来る様意欲を燃やす。
- ・井ノ口和良 畜産経営学科 S61卒 チーズ工房白糠酪恵舎代表、公務員から転職、チーズの製造技術の普及と消費拡大に先駆的な役割を果たす、関係者で組織する「釧路ナチュラルチーズネットワーク」の代表。

終わりに帯広畜産大学、並びに同窓会の創立70周年記念事業のご盛會を祈念申し上げます。

## 9月の支部総会 (交流)を目指して

オホーツク支部長  
堀 次 郎



春先から不順な天気が続いていましたが、6月に入り漸く気温も上がり、カッコウ鳥の鳴き声が聞こえてきました。このオホーツク地方の農作業並びに成育の面でもかなりの遅れが見られ出来秋心配されています。

さて、帯広畜産大学同窓会オホーツク支部は平成15年9月6日に設立され、隔年ごとに総会と親睦会を開催しております。過去4回は北見市内で開催されましたが、今年は事務局を佐呂間が引き受けたこともあって、開催地をサロマ湖悠林館とし、地元の綿羊を使ったジンギスカンでの交流会を計画しています。予定しております総会には長澤学長並びに太田会長のご臨席も現時点では可能とお聞きしておりますので、一人でも多くの同窓生に参加してもらおうべく、同窓会事務局(本部)の平方さんの協力をいただき、オホーツク支部の会員331名全員に案内状を発送いたしました。

果たして、どれ程の会員が集まってくれるかは分かりませんが、楽しく有意義な会になることを期待しているところであります。

## 帯広畜産大学 関東同窓会の近況

関東同窓会 会長  
森 田 邦 雄  
(昭和41年獣医)



関東地区に在住する帯広畜産大学の卒業生は1,500名以上いると思われませんが、関東同窓会は、それらの方々で同窓会活動に賛意を示していただきました約300名をもって構成しております。

事業は、年に3回、幹事会を開催し、総会と懇親会の準備及び名簿の作成を行っています。

今年度の総会は、6月11日、例年開催場所としている「銀座ライオン7丁目店」で開催しました。70名を超える同窓生に参加をいただき、大学からは長澤学長及び三竹副学長・事務局長、同窓会本部からは辻事務局長が来賓としてご参加され、総会がつつがなく終了し、その後、皆さんお楽しみの懇親会が盛大に開催されました。

懇親会は、渡部憲嗣副会長(32年V)の開会挨拶に始まり長澤学長、三竹副学長及び辻事務局長よりご来賓挨拶をいただきました。このなかで、3月11日の東

日本大震災において、大槌町職員である同窓生がお亡くなりになったことが知らされ、深い悲しみに包まれました。この地震は関東でも大きな影響がありました。強い揺れに伴い、JRや地下鉄が運行不能となり、帰宅困難者が続出しました。結局、私も職場のソファで一泊する羽目になりました。

一方、福島原子力発電所の事故において、飯館村の村長として同窓生が頑張っていることも紹介され、帯広畜産大学の卒業生が日本の多くの処で活躍していることに出席者は大きな誇りを感じたところであります。

永江巖副会長(23年C)の乾杯の音頭で宴が始まり、先輩後輩入り交じり楽しいひと時を過ごしました。各務俊彦副会長(35年D)の中締めで宴も終了し、来年の再開を期したところででした。

来年は、若い人と女性の参加を増やして、更なる楽しいものとしていこうと幹事会のメンバーは心も新たに散会しました。

## 同窓会大阪支部近況報告

大阪支部事務局

藤 崎 泰 造  
(平成元年環境)

大阪支部では同窓生有志のご寄付により校旗の入った同窓会旗を作成させていただきました！明るい緑色の地に、校章と帯広畜産大学同窓会の文字を白く染め抜いたさわやかなデザインです。

早速6月19日(日)に模様された大阪府豊中市の服部緑地公園でのバーベキュー会場の目印として活躍したのです。同公園はとても広いので酔った帰りの遭難はモチロンですが、そもそも会場にたどり着けない脱落者も想定されるため、旗があったからわかったと参加者に言っていたときは本当にうれしかったのです。

そういえば同時多発テロのときの内閣がアメリカさんに“Japan must show the flag!”と迫られていましたね……。内にも外にもしっかりと旗を示さないと混乱は深まるばかりです。今年は旗を示したおかげか否か昨年のような遭難者多数という事態は免れたのです。

牛カルビ、生ラム、アスパラは、十勝スロウフードの藤田君(63年環境卒)に手配してもらった十勝清水産、懐かしの味付きジンギスカンもホクレンの鈴木君(平成2年酪農卒)が厳選した最上級。さらに新特産の天然アイヌネギも加わって、お酒も『赤霧島』『三岳』……学生時代には想像も出来ないすばらしい食材達と緑地公園の色とりどりの花々に囲まれて楽しく美味しく品のよいまさに大人のコンパ！でも、さらにそこにサブライズ！最後のメは本元さん提供の“やきっぱ”30~40

代世代の寮生にとっては何より懐かしいご馳走です。バーベキューの鉄板でつくった“やきっぱ”はやや“べちゃっぱ”になっていましたが・・

総勢20名とやや少な目の集まりでしたが、しばらく体調不良で同窓会を欠席されていた大橋さんが奥様とともにご参加いただき久しぶりに顔を拝見でき、初参加の方もいらして有意義な一日となったのでした。

いつの日かどーんと100名参加で緑地公園バーベキュー場を同窓生で一日占拠してみたいと思う事務局でした。

次は11月19日（日）総会です。一度も参加したことのない方も是非ご参加ください。何の利害もない畜大生としての記憶を共有するだけの気楽で楽しい会ですから。



## 兵庫県支部の近況報告

兵庫県支部事務局長  
長谷川 隆 一  
(昭和53年獣医)

兵庫県の同窓会活動は親しい仲間が集まり、とにかく酒を飲むということで30年以上前から続いていましたが、平成6年6月に正式に会則を定め支部を発足させました。その後も、ほぼ毎年総会を開催し、この間、近畿地区合同総会、大阪府との共同開催ということも計画し、学長にも毎年参加いただきました。昨年も11月13日（土）に開催し、長澤学長にお越しいただくとともに、同窓会事務局代表として辻事務局長にも参加いただきました。年々出席者の高齢化が進み、酒量が減っていくのは寂しいことですが、なつかしい昔話、大学の70周年の話題等で大いに盛り上がりました。今後支部の一層の充実を図るとともに、近畿地区での合同開催も計画していきたいと考えております。

また、平成7年1月に発生した阪神・淡路大震災の際には、この支部組織が同窓生の安否・被害確認の大きな助けとなり、さらに同窓会本部、関東支部からの励ましが被災された同窓生の強い支えとなりました。震災を経験した当支部としても、今回の東日本大震災により被災された同窓生の皆様に何かできないかと考

えておりますので、私どもで支援できることがあればご連絡いただきたいと思います。最後になりましたが、東日本大震災の一日も早い復興を心から願っております。



## 島根県支部の近況

島根県支部長  
久保田 政 男  
(昭和32年獣医)



3月11日の東日本大震災及びそれに伴う福島第一原発事故により被害を受けられた東北・北関東地区の同窓会員の皆様に謹んでお見舞い申し上げます。一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

さて、島根県支部の近況ですが、昨年11月前支部長の乗本吉郎先輩（鳥取県米子市在住、島根県内勤務の為、鳥取・島根県両支部に加入）が他界され、故安部康之、故石橋 功、故谷上久夫、故持田憲一の高等獣医、獣医畜産専門、農専卒業の先輩諸氏に続いて人生の幕を閉じられました。三十数年間毎年の県支部同窓会には必ずご出席頂き、畜大創生期の回顧談をお聞きしながら農・畜産人としての薫陶を受けたものでした。惜別の情を感じざるを得ません。感謝の念と共に心よりご冥福をお祈り申し上げます。

従って現在では島根県支部は畜産大学卒業会員ばかりになりましたが、会員数17名で公務員、団体職員、開業、牧場自営業等々多士済々、各分野にて活躍中で、年一回の同窓会を開催して居りますものの、何分島根県は細長い県で東は鳥取県境の安来市から西の山口県境の津和野町まで約三百キロ、ほぼ中央部の出雲市で、開催して居りますが、ご多分に漏れず若年層は現役の第一線で活躍中の為、時間的にも無理がある様で、近年は中高年の同窓会に成りつつあるのが現状です。毎年2月に開催して居りますが、今年度は遅くなり、8月には開催したいと事務局で目下計画中です。その際懸案の七十周年記念事業の「同窓会館建設」の追加の募金活動協力と七十周年同窓会参加を呼びかけるつも

りです。私事で恐縮ですが私自身も近年脚腰が弱くなり、今回が最後の納め時として三十二年卒業同期会と併せて参加の予定です。

又、今年度は隔年開催の中国地区同窓会が広島県支部主催で計画されて居ります。前回山口県からの参加

もあり、岡山県からの参加があれば名実共に中国地区同窓会となります、盛会を期待して居ります。

末筆ながら「国立大学法人帯広畜産大学」「帯広畜産大学同窓会」の益々のご発展、併せて来る10月の七十周年記念同窓会のご盛会を祈念申し上げます。

## 訃 報

謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。[敬称略]

平山隆久 (S18高獣獣医)	村瀬信一 (S24農専・農芸)	塩谷弘良 (S28酪農)
小松俊夫 (S18高獣獣医)	高島昭夫 (S25農専・農芸)	木下武敏 (S28酪農)
佐々木一男 (S19獣医畜産)	米澤志郎 (S25農専・農学)	長多廣 (S30酪農)
大屋光弘 (S20獣医畜産)	阿部信男 (S25農専・農学)	佐藤浩気 (S30酪農)
田中外夫 (S20獣医畜産)	赤坂健也 (S29獣医)	小笠原義元 (S32酪農)
中島式世 (S20獣医畜産)	岡田勉 (S30獣医)	小納圭二 (S36酪農)
諏訪内博之 (S20獣医畜産)	淵山達男 (S31獣医)	竹森俊彦 (S37酪農)
横田 晁 (S20獣医畜産)	星川和弘 (S31獣医)	有泉幸雄 (S43酪農)
乗本吉郎 (S22獣医畜産)	富田健治 (S31獣医)	真壁文男 (S57酪農)
大久保玄曠 (S22獣医畜産)	石田市次 (S36獣医)	小栗啓生 (S37総農)
林重雄 (S22獣医畜産)	石田隆之 (S37獣医)	山口公章 (S46工学)
長岡宗二 (S25獣医畜産)	川島由次 (S37獣医)	片桐忠実 (S49工学)
吉田好 (S24農専・酪農)	長曾我部 紘 (S37獣医)	木村圭治 (S53工学)
佐藤保彦 (S25農専・酪農)	清水 晃 (S42獣医)	和気清彦 (S58環境)
谷内松壽 (S23農専・農芸)	川口節男 (S42獣医)	関口和佳 (H07環境)
宮沢康夫 (S24農専・農芸)	梅本祐一 (H14獣医)	沖野洋志 (H12環境)

\*2010年9月から2011年現在までに、本部事務局にご連絡をいただきました。

## 事務局だより

### 平成22年度 帯広畜産大学同窓会 第1回役員会議事録

出席者 10名  
委任状 11通  
開催日時 平成22年12月11日(土)  
午後5時00分から  
場所 レストラン煉瓦亭  
議題

#### 1. 平成22年度事業計画

辻事務局長より、会報に記載されている事業計画に沿って事業を進める旨が説明され、了承された。また、帯広畜産大学基金への寄付金について、今後同窓会の名前を冠に付けた用途(奨学金など)を話し合う必要がある旨の話がされた。

#### 2. 大学創立70周年記念事業に向けて

辻事務局長より、事業の概要が報告され、了承された。

次に、現在の寄付金総額および件数(12月8日現在:8,327,499円、743件)が報告された。

企業からの寄付金に関しては、大学側と協議し、大学の基金に入れることにより企業からの寄付に対しては税金の寄付控除が認められることになり、企業に対する寄付依頼を行っていくことになった。

#### 報告事項

##### 1. 平成22年度事業中間報告

辻事務局長より、70周年記念事業に関して、同窓会館の構造や外観などについての報告がされた。

また、支部会の会合への役員の出席について、今後も協力して頂きたい旨の話がされた。

同窓会の慶弔規程の草案を現在会長と事務局長で作成中である旨の話がされた。

##### 2. その他

由佐副会長より、12月13日(月)に今回の役員会

と同じ会場で十勝支部会の役員会が回される旨の報告がされた。

## 平成22年度 帯広畜産大学同窓会 臨時役員会議事録

出席者 19名

委任状 4通

開催日時 平成23年1月23日(日) 午後1時から  
場 所 帯広畜産大学 かしわプラザ 一階  
コンベンションルーム

議 題

1. 帯広畜産大学の研究費の不適切な処理について  
学長より説明と謝罪がありました。
2. 今後の70周年募金の方向性について
3. その他

## 平成22年度 帯広畜産大学同窓会 第2回代議員会議事録

出席者 19名

委任状 24通

開催日時 平成23年5月21日(土) 12:30~13:30  
場 所 帯広畜産大学  
かしわプラザコンベンションルーム

議 題

1. 嶋田庶務役員の大阪府大への転出に伴う庶務役員の  
補充について  
嶋田先生の大阪府大転出に伴い、S59年草地卒  
小池先生へ
  2. 東日本大震災に関する取り組みについて  
同窓生である飯館村長の発行による「までの力」  
の販売を同窓会で協力する事を決定した。
  3. その他
- 報告事項
1. 帯広畜産大学創立70周年記念事業「(仮称)同窓会館」

の募金状況について

平成23年5月19日現在：同窓会募金状況

募金者数1,099名(重複者を含む)

募金総額11,742,499円

平成23年5月19日現在：

大学基金(70周年記念事業)寄附金状況

寄附件数 65件

寄付金総額 1,365,500円

2. 同窓会ビアフェスタ開催について  
昨年同様 8月6日(土) 畜大 顕彰碑前にて  
12時開始
3. その他

## 事務局への連絡

同窓会支部活動のお知らせや役員の変更、会員の逝去など同窓会事務局に随時お知らせください。同窓会のホームページへの掲載や支部会員宛のタックシール作り等をお手伝いします。

なお、同窓会事務局は、月曜から金曜日の午前10時から午後4時までは事務職員が在住しています。これ以外の夜間、休日などはFAX対応となります。また、緊急な場合は、下記の事務局員にご連絡ください。

・事務局の電話およびFAX 0155-49-5996

事務局員 平方 英代

・緊急時対応電話(0155-49)

辻 事務局長：5510 小嶋庶務担当：5547

小池庶務担当：5472 手塚会計担当：5417

岸本名簿担当：5522

・ホームページ

<http://www.obihiro.ac.jp/~dousou/>

・E-mail

dousou@obihiro.ac.jp

## 編 集 後 記

今年は大変な年でした。未曾有の東日本大震災、地震と津波そして原発事故、わが母校の創立70周年の年というのにとしばしばやいておりました。しかし、被災者の方々がひたむきに復興に向かっている姿を見るにつけ、幸いにも難を逃れた帯広の地においても何かお手伝いできることはないかと、飯館村を訪れました。菅野先輩の村を思う気持ちに感銘し、いくばくかのお手伝いはと、「までの力」を同窓会で斡旋し、復興に協力したいと思っています。皆様のご協力をお願いいたします。

なお、今秋の帯広畜産大学創立70周年記念事業に関しては、「(仮称)同窓会館」の建築風景をリアルタイムでホームページで紹介しています。また、準備の方も、同窓生である長澤学長のもと、大学と同窓会が協力してその準備にかかっているところです。会館の費用は、もう少しのところですので、特に若い卒業生の皆様のご協力をお願いします。

最後に、晴天のもと、10月8日に母校で皆様にお会いできることを楽しみにしております。

(文責：辻修)

# 帯広畜産大学同窓会会則

昭和36年7月7日制定  
平成5年10月16日改訂  
平成9年10月18日改訂  
平成11年10月23日改訂  
平成13年10月6日改訂  
平成19年10月13日改訂

## 第1章 総 則

- 第1条 本会は帯広畜産大学同窓会と称する。
- 第2条 本会は会員相互の連絡と親睦、並びに帯広畜産大学の発展に寄与することを目的とする。
- 第3条 本会は前条の目的を達成するために次の事業を行う。
1. 同窓会報の発行
  2. 同窓会名簿の発行
  3. 帯広畜産大学の後援
  4. その他本会の目的を達成するための必要な事業
- 第4条 本会の事務局は帯広畜産大学内に置く。

## 第2章 会 員

- 第5条 本会の会員は次の資格を備うるものとする。
1. 帯広畜産大学及びその前身の卒業生
  2. 帯広畜産大学畜産学専攻、大学院畜産学研究科、及び別科修了生
  3. 岐阜大学大学院連合獣医学研究科及び岩手大学大学院連合農学研究科の修了生で本学の講座に所属したものの
  4. その他代議員会で認めたもの
- 第6条 本会は帯広畜産大学及びその前身の同窓会以外の教員を特別会員とする。
- 第7条 会員は住所、その他の異動があった場合は、その都度本会に速やかに通知しなければならない。

## 第3章 役 員

- 第8条 本会は帯広畜産大学長を名誉会長に推薦する。
- 第9条 本会は次の役員を置く。会長1名、副会長若干名、事務局局長1名、庶務3名、会計3名、名簿編集委員3名及び監事2名。ただし、会長が必要と認めた場合は役員を追加することができる。役員会は前記の役員で構成し、本会の日常的な運営にあたる。本会は役員会の推薦により顧問を置くことができる。
- 第10条 会長及び副会長は代議員会において会員中より選出し、総会の承認を受けるものとする。その他の役員は役員会において会員中より選出し、代議員会の承認を受けるものとする。役員及び代議員の任期は一期二年とし、再選を妨げないが、会長の任期は二期を越えないこととする。
- 第11条 会長は本会を代表し、会務を統理する。副会長は会長を補佐し、会長事故あるときはその職務を代行する。
- 第12条 事務局局長は庶務と共に会務を担当する。
- 第13条 会計は会費を徴収し、本会の資産管理と予算の適切な執行を担当する。
- 第14条 名簿編集委員は同窓会名簿の発行を担当する。本委員は名簿の編集の円滑化を計るため、名簿編集委員を委嘱することができる。
- 第15条 監事は本会業務の執行及び会計の状況を監査する。
- 第16条 役員会は会長が招集しその議長となる。本会は構成役員

の過半数の出席で成立し、会の議事は出席者の過半数をもってこれを決する。

- 第17条 役員会は支部等から若干名の代議員を委嘱し、重要な会務を審議するために役員と代議員とで構成する代議員会を置く。
- 第18条 代議員会は会長が招集しその議長となる。代議員の3分の2以上の署名により会議の目的事項を示して請求があったときは、会長は代議員会を招集しなければならない。代議員会は構成員の過半数（委任状を含む）で成立し、議事は過半数をもってこれを決する。可否同数の場合は議長の決するところによる。
- 第19条 代議員会は次の事項を審議する。
1. 予算及び決算
  2. 会費の変更
  3. 重要な資産の処分
  4. その他重要な事項

## 第4章 総 会

- 第20条 総会は通常総会と臨時総会とする。通常総会は原則として隔年で開催するものとする。臨時総会は代議員会において必要と認めるとき、また10分の1以上の会員の署名により会議の目的事項を示して請求があったときはこれを開くこととする。
- 第21条 総会は会長が招集し、その議長は会員中より総会で選出する。
- 第22条 次の事項は通常総会においてその承認を受けるものとする。
1. 会則の変更
  2. 役員人事
  3. 資産目録
- 第23条 総会の議事は出席会員の過半数をもってこれを決する。可否同数の場合は議長の決するところによる。
- 第24条 本会の経費は、会費、寄付金及びその他の収入をもってこれに充当する。

## 第5章 資産及び会計

- 第25条 本会の重要な資産を処分するには、代議員会の決議を経て、総会の承認を得なければならない。
- 第26条 会員は終身会費として卒業または修了後速やかに20,000円を納めなければならない。但し、特別会員は会費を免除する。
- 第27条 本会の活動を支援していただく目的で、帯広畜産大学に入学される新入生に同窓会協賛金20,000円の納入をお願いする。この協賛金は卒業あるいは修了時に自動的に終身会費に切り替わるものとする。但し、何らかの事情で途中退学されたときには、本人からの請求があれば返金するものとする。
- 第28条 本会の会計年度は毎年10月1日に始まり、翌年9月30日に終わる。

## 第6章 支 部

- 第29条 本会はその目的を達成するために、必要があるときには支部を設けることができる。
- 第30条 支部を設置しようとするものは、その代表者から本会に届け出なければならない。
- 第31条 支部は支部会において、特別の定めをすることができる。

付 則 この会則は平成19年10月13日から施行する。

平成23年7月

帯広畜産大学同窓会々員 各位

帯広畜産大学同窓会長 太田 助

同窓会名簿編集委員長 岸本 正

## 平成23年版 帯広畜産大学 同窓会名簿の販売並びに協賛広告のご案内

盛夏の候 同窓会員の皆様には、ますますご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。さて、同窓会名簿は、本年10月の発行を目指して編集中です。

同窓会名簿を購入希望の方は、同封の振替用紙にてお申し込み下さい(頒価 3,000円)。なお、名簿の購入は、何時でも受け付けておりますので、随時お申し込み下さい。また、振込用紙の記入様式が変更になっています。別紙の入力事項記入例を参考に、ご記入下さい。

同窓会名簿の整備につきましては、ご本人からの連絡が一番信頼できるものです。同封した宛先の裏面に、名簿に記載される予定の内容を印刷しています。内容に誤りがありましたら、赤で訂正して、投函されますよう、お願い申し上げます(8月31日迄に届いたハガキについては、今回発行の名簿に掲載致します)。訂正は大学のホームページからも可能です。帯広畜産大学トップページの「卒業生の皆様へ」から「帯広畜産大学同窓会」、「住所氏名変更届」へと進み、入力ができます。不掲載を希望の方は「ご意見、ご感想」の欄に、勤務先、自宅、電話等個別に不掲載の旨、ご記入下さい。また、全て掲載不可の場合は、その旨ご記入下さい。

また、ご存知のように、会員を対象とした協賛広告を同窓会名簿に掲載しています。協賛広告は毎回減少していますが、多くの方々がご利用下さることをお願いし、ご案内申し上げます。同窓会名簿の大きさはB5版で、掲載料金は下記の通りです。広告を希望される方は、掲載場所、図案、文字、スタイル、会員名、卒年、学科などを書いてお申し込み下さい。広告の受付締切は8月31日(水)です。なお、原則として申込み1件につき、名簿1冊を贈呈致します。広告料金のお支払いは、名簿とともに郵便振替用紙を送付しますので、後日振り込みをお願いします。

未筆ながら、皆様の益々のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。

名簿並びに広告についてのお問い合わせは下記までお願い致します。

〒080-8555 帯広市稲田町西2線11番地

帯広畜産大学同窓会事務局

Tel: 0155-49-5996

E-mail: dousou@obihiro.ac.jp

### 記

広告掲載場所

広告掲載料金

- ★裏表紙(1頁): 10万円(1/2頁: 6万円)
- ★裏表紙の内側(1頁): 7万円(1/2頁: 4万円)
- ★おもて表紙の内側(1頁): 7万円(1/2頁: 4万円)
- ★普通(色)ページ(1頁): 4万円(1/2頁: 3万円、1/3頁: 2万円)



## 母校も創立70周年を迎えました。

## 皆さん！母校の70周年を一緒にお祝いしましょう！

先の号でご案内いたしましたように創立70周年記念事業を行います。着々と実施へ向けて作業を進めておりますので、その記念事業の内容を下記にご案内を申し上げますとともに、事業実施のための醸金が大きく不足しておりますので、まだ未納の方はご醸金をお願いいたします。

### ＊ 日 程 ＊

10月7日（金）13：00～14：30

#### 記念講演会

場 所：帯広畜産大学講堂  
講 師：坂東 元 氏（旭山動物園 園長）  
対 象：教職員、学生、一般市民

10月8日（金）11：00～16：30

#### 同窓会総会

場 所：帯広畜産大学 講堂 11：00～12：00

#### 記念式典

場 所：帯広畜産大学講堂 13：00～14：00  
開会の辞、学長式辞、来賓祝辞、  
祝電披露（マンドリンサークル）、  
畜大紹介

#### 同窓会館引渡式（同窓会主催）14：15～14：30

場 所：帯広畜産大 同窓会館  
かしわプラザ駐車場の北側  
テープカット他

#### 記念祝賀会 帯広畜産大 かしわプラザ駐車場を中心として

同窓会館引渡式後、14時30分から2時間程度  
・終了後バスにて駅前までお送りします。

### ☆ 記念事業の主たる内容 ☆

- 1) 創立70周年記念誌の発行
- 2) 仮称「同窓会館の建設」
- 3) 記念講演会の開催  
上記のごとく、旭山動物園 園長の講演会を開催いたします。

### ＊ 祝 賀 会 開 催 要 領 ＊

日 時：10月8日同窓会館引渡式後、祝賀会へ移行します。

場 所：帯広畜産大 かしわプラザ駐車場を中心として羊の丸焼き、畜大との共同研究先の食品の提供、学生サークルのアトラクション、etc.

会 費：4000円、同封の振込用紙でお申し込み下さい。  
この送金と同封の葉書で出席を確認させていただきます。領収書は発行しませんので払込票兼受領書を保管ください。ご同伴者がおられます場合には人数分を納入ください。

締切日：8月末日（準備の都合がありますので厳守ください）

お願い：出席の葉書は出席の方だけご投函ください。  
欠席の方はどうか投函しないでください。お願いします。

#### 帯広畜産大学創立70周年事業(仮称)「同窓会館」に対するご寄附のお願い

昨年お願いした標記の件ですが、今日現在までにご寄附いただいた総額は約1200万円弱でございます。これまでの同窓会積立金を1000万円こちらに使わせていただくことを昨年の代議員会で了承していただきましたが、担当副会長の報告にもあります様、まだ建設には、建屋内の机等の整備費も含めて300万円ほど不足しております。同窓生の数は現在12000人を超えようとしておりますが、これまでにご寄附をいただいたのは、その約10%の1200名であります。東日本大震災を含め大変な時期とは存じますが、未納の同窓会員の皆様に方々に重ねてご寄附のお願いをする次第です。なにとぞ創立70周年事業にご理解とご支援を申し上げます。

なお、ご寄附の確認につきましては、同窓会ホームページに(<http://www.obihiro.ac.jp/~dousou/kaikan.htm>) 学科・卒年別にイニシャルのみを掲載しています。例：工学・S53・TO) をご覧になるか、同窓会事務局(0155-49-5996: 月～金の10:00～16:00)に直接、お問い合わせください。

なお、ホームページアドレスは、ブラインドにしておりますので、直接打ち込んでください。また、このページは、9月末までの、期間限定といたします。

### ¥ ご 寄 付 要 領 ¥

醸 金 額：一口 5,000円（2口以上）(何口でも結構です)  
醸 金 方 法：同封の振替用紙でご送金ください  
締 め 切 り：8月末日

宜しく申し上げます。